

令和7年度 深堀小学校学力向上プラン

長崎市第五次総合計画 前期基本計画

基本施策：G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます。

個別施策：「確かな学力」の向上を図ります（G1-1）

健やかな心と体を育成します（G1-2） 学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります（G1-3） 子どもが安全・安心に学べる教育環境を整備します（G1-4）

学校教育目標	「やればできる ～みんなの好きな楽しい学校～」
めざす児童像	す ：すすんで学ぶ子…主体的に学習に取り組み、めあて達成をめざし、粘り強くやり通す子ども た ：たくましくやり抜く子…健康・安全を心がけ、心身を鍛える子ども あ ：あかるく素直な子…朗らかにあいさつ・返事をしたり、相手の気持ちを考え行動したりする素直な子ども
めざす職員像	「チーム深堀」力の向上 ○共有（意識をそろえる） ○共働（全員が動く） ○共感（全員で達成感を味わう）

【本年度の重点目標】

学力調査において市と全国平均正答率との差をマイナス1桁まで縮めることを目指す。

学力調査における課題（国語科・算数科ともに全国・県・市平均より低い）	
3年 低い	【国語】知識・技能（言葉の特徴や使い方、情報の扱い、我が国の言語文化） 話すこと・聞くこと 読むこと
4年 やや低い	
5年 低い	【算数】数と計算 変化と関係（5.6年） データの活用
6年 やや低い	

【学力向上への取組】

授業改善		学級経営
「チーム深堀」となり、児童が主体的に学習する授業づくりに取り組む校内研修 研究主題「自ら考え、表現し、学び合う児童の育成 ～学びを支える学級づくりと意思表示のある授業づくり～」 研究の視点：①基礎基本の定着 ②意思表示のある主体的・対話的な授業 ③学びを支える学級づくり ・ふかほりスタンダードの実施 ・振り返りによるメタ認知 ・キュビナを活用した学習		・指示的風土のある学級づくり ・「深堀小よい子のきまり」の徹底 ・毎月の生活目標の設定 ・毎月「生活アンケート」の実施 ・好ましい言葉づかいの励行 ・あはは運動の浸透 ・全職員での指導（毎週の「子どもを語る会」による児童の情報共有）
学習環境の整理	特別支援教育	家庭との連携
・掲示物 ・板書の統一 ・あいさつ ・返事の統一 ・「学習の約束」の徹底	・交流学級担任と特別支援学級担任の連携 ・校内支援の充実 ・個別の支援計画と指導計画の作成	・教育相談体制の充実 ・学級、学年、学校だよりの作成 ・家庭との連携（「さわやかチャレンジ」の実施）

児童の実態や学力調査結果を基にした学力向上に向けての各学年の主な授業改善

1年	【国語】 学び方の定着（学習準備・話し方聞き方・ノートの書き方・対話・振り返り） 書く・声に出す活動（口・表情の運動）を多く取り入れる。 【算数】 学び方の定着（学習準備・話し方聞き方・ノートの書き方・対話・振り返り）
2年	【国語】 正しく文を読むことを意識して取り組み、言葉の理解を高める。 本文の根拠を視覚化し、自分の考えに根拠がもてるようにする。 【算数】 基礎基本の計算練習を日常的に行う。絵や図、式や答えを関連させて説明する活動を行う。
3年	【国語】 言語事項では、既習の漢字を意識して使うようにさせる。 【算数】 計算問題などの練習量を増やす。児童の興味関心を高める授業を行う。
4年	【国語】 言葉の特徴や使い方の語彙を増やすため、巻末の「言葉の宝箱」を活用し、知識を増やす。 話すこと・聞くことの力を高めるため、ふかほりスタンダードや学習の約束を徹底する。 【算数】 キュビナを活用し、基本的な問題の反復学習を行い、計算力を高める。
5年	【国語】 書く活動では、キーワードを入れたり文字数を決めたりと、条件に合わせて文章を書く力をつける。 漢字の書き取りは、丁寧に、熟語で練習を行い、語彙力を高める。 【算数】 プリントやキュビナで反復練習を行い、計算力を高める。最後まで解き抜く力をつける。
6年	【国語】 すべての単元において書く活動を設定する。その際、型を例示し、どの児童も自分の考えを書き表せるようにする。 読み書きの基礎基本である漢字学習では、小テストを毎回の授業で行うことで定着を図る。 【算数】 見通しの焦点化を行い、どの児童も自力解決ができるようにする。